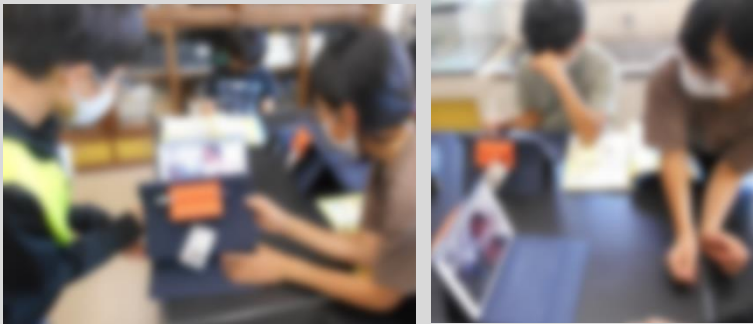


【ICT活用実践紹介】ICT活用通信 NO30 の応用編

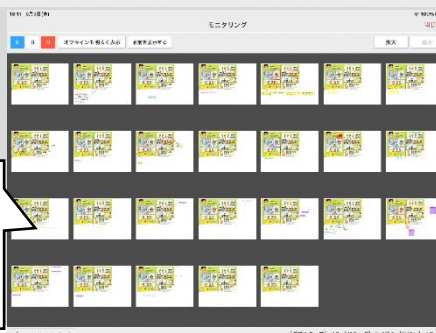


顔を見ながら交流をする児童



グループページ

自分の考えをまとめる
個人ページ
モニタリング画像



【花里小 ●●先生の実践】

教科：理科「動物のからだのはたらき」（他の科目でも可）

活用ツール：Teams, MetaMoji ClassRoom

類型：－

内容：欠席児童に対する学習保障

- 【準備】教室のノートパソコンと児童を Teams で繋げておく。
- 【準備】MetaMoji ClassRoom で授業で活用するノートを作っておく。（今回は、個人ページとグループページの2種類のページを作る）
- 【準備】予備のタブレットがあればタブレットで Teams に参加しておく。（グループ交流用）
- 【授業：児童】画面をスプリットスクリーンにして MetaMoji ClassRoom と Teams を同時に開いて授業を受ける。
- 【授業：教師】電子黒板を使うときは Teams の画面共有をする。板書を写すときはタブレットで板書を写しながら授業をする。

教師の感想：今回のように児童同士の交流がメインとなる内容では、MetaMoji ClassRoom と Teams を活用することで普通の授業のようにできる。

【岡田のおもいつ記】

今回の実践では、前は zoom で行った実践を Teams で行いました。高山市は教職員と児童生徒一人一人に Office 365 のアカウントがあるため、Teams なら時間を気にせずテレビ会議が行えるメリットがあります。Teams には課題提出機能など様々な機能もありますが、日頃行っている実践の技術でできるのも今回の実践のよさです。今回は実験もなく、考えを交流する協働学習が主でしたが、実験があるときでも、既成の実験動画を見せるよりは、学級の仲間が実験を行っているものを見て感想を言いながら行える今回の方法が使えるのではないかと思います。（もちろん、実際に実験を行うことができればよいのですが…）

今回の実践は、「効果的な活用」というよりは、ICT の「幅広い活用」になると思います。この学級のように日頃から ICT 機器を授業中でも活用していると、離れていても当たり前のように使うことができるのがいいですね。また、離れていても協働学習を円滑に推進するファシリテーターの育成や対話スキルの育成などの日常的な指導のほか、相手を受容しながら建設的に意見を出し合えるあたたかな学級づくりなど、「協働の土台」を育てることも大切ですね。